

研究指導の概要とスケジュール

経済学研究科 博士後期課程

時 期	項 目	内 容
1 年次		
4 月	書類交付、 ガイダンス	・ 修学及び学生生活に関する書類を配布し、履修の概略等について説明する。
	指導教員の決定	・ 入学試験時の希望指導教員等に基づいて、研究科委員会において指導教員を決定する。
	個別履修指導	・ 指導教員により個別に大学院生の履修指導を実施する。
	5 月	研究指導計画書 ・ 大学院生と指導教員の協議に基づいて、研究指導計画書を作成する。計画書は所定の書式に従って作成する。 ・ 定められた期日までに計画書を研究科事務に提出する。
	6 月～	研究指導 ・ 研究指導計画書に基づいて、年間を通じて指導教員の指導の下で研究を進める。
	7 月	中間報告会聴講 ・ 報告会の聴講及び会の進行を補助する。
	2 月	本審査会聴講 ・ 博士論文本審査会の聴講及び会の進行を補助する。
2 年次		
4 月～	研究指導	・ 研究指導計画書に基づいて、年間を通じて指導教員による指導の下で研究及び修士論文の作成を進める。
	4 月	個別履修指導 ・ 指導教員により個別に大学院生の履修指導を実施する。
	7 月	中間報告会聴講 ・ 報告会の聴講及び会の進行を補助する。
	2 月	本審査聴講 ・ 報告会の聴講及び会の進行を補助する。
3 年次		
4 月～	研究指導	・ 研究指導計画書に基づいて、年間を通じて指導教員による指導の下で研究及び修士論文の作成を進める。
	4 月	個別履修指導 ・ 指導教員により個別に大学院生の履修指導を実施する。
	6 月	学位論文作成届 ・ 氏名、研究テーマ等を記載した論文作成届を提出する。
	7 月	中間報告会 ・ 公開報告会を開催し研究の進捗状況について報告するとともに、広く意見を聞くことによって、必要に応じて研究計画の修正等を行う。
	7 月	予備審査 ・ 定められた期日までに審査用論文を研究科事務に提出する。 ・ 委員会で主査と副査を選出し、予備審査に入る。 ・ 必要があれば審査委員から修正の指示を行う。
	10 月	予備審査報告 ・ 研究科委員会で主査と副査から審査報告をしてもらう
	2 月	本審査 ・ 公開発表会を開催し広く意見を聞くとともに、主査と副査により口頭諮問形式で審査を行う。 ・ 判定会議を開催し、主査及び副査の採点結果に基づき、合

		否を判定する。
2 月	修了判定	・ 研究科委員会において本審査結果及び成績等を審議し、 学位授与の可否を決定する。
	論文最終提出	・ 本審査に合格した場合、誤字等の修正を施した上で博士 論文 2 部を研究科事務に提出する。